

2009年5月29日

報道各位

三井金属鉱業株式会社
住友金属鉱山株式会社

伸銅事業の統合に関する基本合意について

三井金属鉱業株式会社（本社：東京都品川区 社長：竹林義彦 以下三井という）と住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 社長：家守伸正 以下住友という）は、この度、両社における伸銅事業の事業統合を目的とした統合会社の発足に向けて詳細な検討に入ることにつき、基本合意に達しました。

伸銅品は、2000年前後から顕著な需要の減少に見舞われており、業界内の競争は年々激化してきております。そのような状況下、生き残りをかけ、両社が保有する技術、営業、人材面の個々の強みを再編、最適化するとともに、効率化によるコストダウンを推進すべく、両社での検討を開始いたします。

なお、今後本件を取り進めるにあたっては、公正取引委員会などの関係官庁のご指導を仰いで参ります。

1. 事業統合の目的

両社は、伸銅事業に関して、生産設備の有効活用、営業・管理業務の効率化、製造技術の相互補完により相乗効果を最大限に発揮し、伸銅事業の競争力を強化していくことを目指します。

(1) 黄銅事業の国内 No.1 の地位確立

両社事業の統合により、東西二拠点（埼玉県上尾市、三重県いなべ市）の一貫生産体制を有することになります。この二拠点一貫生産体制の優位性を最大限に活用し、最適な生産体制を確立することにより、コスト、品質、納期における競争力を向上させます。これにより安定供給体制を実現し、国内での黄銅事業で No.1 の地位を確固たるものにして参ります。

(2) 効率的・効果的な販売・管理体制の確立

両社の営業情報・ノウハウ、販売チャンネルなどの営業ソフト面と、営業拠点、物流などの営業ハード面の統廃合を実施し、最も効率的・効果的な販売体制の確立と物流コストの引き下げを図ります。

また、本社機能を集約することにより、管理間接部門の統廃合を実施し、スリムな管理体制を実現し、管理間接費用の大幅な削減を図ります。

(3) 技術優位の確立

それぞれの強みである技術・生産設備を相互に補完、融合することにより、技術開発力、生産技術力の向上を目指し、業界内での技術優位を確固たるものにして参ります。

2. 事業統合の概要

(1) 事業範囲

- ①三井金属鉱業株式会社が、圧延加工事業部において行っている事業及びこれらに付帯・関連する事業
- ②住友金属鉱山株式会社が、100%子会社である住友金属鉱山伸銅株式会社において行っている伸銅事業及びこれに付帯・関連する事業

(2) 統合会社における出資比率

三井、住友各50%

(3) 統合予定日

2010年4月1日

3. 事業統合の効果

両社の事業統合により、有形、無形の様々な効果が見込まれますが、次の事項を実現することにより、市況にもよりますが、直接的な統合効果として年間10億円程度を見込んでいます。

(1) 販売

- ① 営業拠点の統廃合による販売管理費の削減
- ② 顧客に近接した拠点での生産による物流費の削減

(2) 原料

- ① 集中購買による有利購買

(3) 生産

- ① 最適な拠点での生産によるデリバリー時間の短縮
- ② 最適な拠点での生産による安定供給体制の構築

(4) 管理

- ① 本社機能、制度、システムの統廃合による管理間接費の削減
- ② BPR（ビジネス プロセス リエンジニアリング）の実施による効率的な管理間接業務の運営

なお、事業統合の詳細内容につきましては、今後協議整い次第、あらためてお知らせいたします。

以 上

(本件に関するお問い合わせ先)

三井金属鉱業株式会社 経営企画部広報室 桜井 若葉 (TEL : 03-5437-8028)

住友金属鉱山株式会社 広報 I R 部 大場 浩正 (TEL : 03-3436-7705)

(添付資料)

1. 三井金属鉱業株式会社の圧延加工事業の概要
2. 住友金属鉱山株式会社の伸銅事業の概要
3. 統合会社の概要
4. 伸銅品について

1. 三井金属鉱業株式会社の圧延加工事業の概要

三井金属鉱業株式会社

- | | |
|---------|------------------|
| (1) 本社 | 東京都品川区大崎一丁目11番1号 |
| (2) 代表者 | 竹林 義彦 |
| (3) 資本金 | 421億円 |

(圧延加工事業部)

- | | |
|-----------|--|
| (1) 工場所在地 | 埼玉県上尾市二ツ宮656-1 |
| (2) 事業内容 | 銅・黄銅の条・板の製造及び販売
亜鉛及びその合金の板・条の製造及び販売 |
| (3) 生産能力 | 伸銅品 約4,000t/月
(うち黄銅条分約60%) |
| (4) 社員数 | 約340名(2009年4月1日現在) |

2. 住友金属鉱山株式会社の伸銅事業の概要

住友金属鉱山株式会社

- | | |
|---------|-----------------|
| (1) 本社 | 東京都港区新橋五丁目11番3号 |
| (2) 代表者 | 家守 伸正 |
| (3) 資本金 | 932億円 |

住友金属鉱山伸銅株式会社(住友金属鉱山の100%子会社)

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| (1) 本社 | 東京都台東区東上野三丁目1-13 |
| (2) 代表者 | 中里見 徹 |
| (3) 資本金 | 25億円 |
| (4) 工場所在地 | 三重県いなべ市員弁町上笠田 |
| (5) 事業内容 | 銅・黄銅の条の製造及び販売
圧延銅箔の製造及び販売 |
| (6) 生産能力 | 伸銅品 約2,000t/月
(うち黄銅条分約70%) |
| (7) 社員数 | 約130名(2009年4月1日現在) |

3. 統合会社の概要

- | | |
|-------------|---|
| (1) 会社名、資本金 | 未定 |
| (2) 出資比率 | 三井、住友各50% |
| (3) 生産能力 | 約6,000t/月(うち黄銅条分約65%) |
| (4) 事業内容 | 銅・黄銅の条・板の製造及び販売
亜鉛及びその合金の板・条の製造及び販売
圧延銅箔の製造及び販売 |
| (5) 統合予定日 | 2010年4月1日 |

4. 伸銅品について

伸銅品とは、銅及び銅に亜鉛を加えた黄銅などを、板、条、管、棒、線などの形状に加工した製品の総称です。

統合会社では、主として条（コイルに巻かれた形状の製品）を製造、販売します。また条には銅条と黄銅条があり、統合会社の主製品となる黄銅条は、銅を主成分に、亜鉛を30～40%含んだ合金条の製品です。この黄銅条は、導電率と加工性に優れているため、主に車載部品や電子部品としての端子・コネクタなどに使われています。

<黄銅条>



<両社工場>



住友金属山形伸銅



三井金属